

ダイセーロジスティクス(株)は、このような SDGsの取り組みを行っています！



SDGsの17の目標から、わたしたちが地球に向けて活動していること、当社に関わる持続可能な目標をご紹介いたします。

3 すべての人へ健康と福祉を促進する <ul style="list-style-type: none"> 毎年(6月・12月)に全センターにおいて、住所管轄地の「社会福祉協議会」へ寄付金及び「古切手」寄付を行っています。 全社一体となってペットボトルキャップを回収し、恵まれない子供たちへ「ポリオワクチン」の寄付を行っています。 ブルタブ回収し、車いす寄付のお手伝いをしています。 SDGs私募債発行を行っています。 	4 質の高い教育をみんなに 8 働きがいも経済成長も <ul style="list-style-type: none"> 目的：すべての人に包摶的かつ公正な質の高い教育を確保し、生涯学習の機会を促進する 目的：包摶的かつ持続可能な経済成長及びすべての人々の完全かつ生産的な雇用と働きがいのある人間らしい雇用（ディーセント・ワーク）を促進する 各種研修（新卒入社研修・中途入社者研修・管理職研修・ハラスマントセミナー・安全教育セミナー・ドライバー研修等）を取り入れた活動を行っています。また、免許支援制度を導入し、入社後からも各種免許取得のバックアップを行っています。 働きやすい職場認証制度（運転者職場環境良好度認証制度 一つ星）に合格しています。
5 ジェンダー平等を実現しよう <ul style="list-style-type: none"> 目的：ジェンダー平等を達成し、すべての女性及び女児の能力強化を行う 職場におけるハラスマント対策の一環として、社内ヘルプライン窓口を設置しています。 毎月1回のWEBミーティングにて、各拠点の女性 Crew 会議を行っています。 女性委員会発信で、役員・センター長・女性 Crew は「SDGsバッヂ」を着用しています。 	7 エネルギーをみんなにそしてクリーンに 13 気候変動に具体的な対策を <ul style="list-style-type: none"> 目的：すべての人々の、安価かつ信頼できる持続可能な近代的なエネルギーへのアクセスを確保する 目的：気候変動及びその影響を軽減するための緊急対策を講じる 倉庫部門では、古河スーパーHAPセンター、杉戸スーパーHAPセンター、八千代スーパーHAPセンターにて太陽光発電を行っています。 車両部門では、環境にやさしい車両の導入や、全センターGマーク取得しています。 <p>グリーン・エコプロジェクトと尿素SCRシステムを活用し、全車CO2(25%)削減に取り組んでいます。</p>
9 産業と技術革新の基盤をつくろう <ul style="list-style-type: none"> 目的：レジリエント（柔軟性）なインフラ構築、持続可能な産業化の促進及びイノベーションの推進を図る DX（デジタル・トランスフォーメーション）構築を進めています。（取組例：AI自動配車システム、RPA業務自動化、WMS（Warehouse Management System）/TMS（Transportation Management System）/ハンディターミナル、静脈認証勤怠管理、モバイルアプリ開発、予実管理システム等） 情報セキュリティマネジメントシステム（ISMS:Information Security Management System）の国際規格である「ISO/IEC27001:2013」の認証を取得しています。 	6 安全な水とトイレを世界中に 12 つくる責任つかう責任 <ul style="list-style-type: none"> 目的：すべての人々の水と衛生の利用可能性と持続可能な管理を確保する 目的：持続可能な消費生産形態を確保する 全社でリサイクル運動を継続しています。（ペットボトル回収・古紙回収・段ボール回収・鉄くず回収・使用済みストレッチフィルム回収等）を行い、ごみの減量化と、資源リサイクルとリユース分別の徹底をしています 古着リサイクルの回収を行い、世界中の「一人でも多くの難民の方」のお手元に届くよう活動しています。



目的:あらゆる年齢のすべての人々の健康的な生活を確保し、 福祉を促進する

- 毎年（6月・12月）に全センターにおいて、住所管轄地の「社会福祉協議会」へ寄付を行っています。
- 全センターで「ペットボトルキャップ」回収し、世界中の恵まれない子供たちへ「ポリオワクチン」の寄付を行っています。
- 社会福祉協議会への寄付金のほかに、「古切手」や未使用タオルなどの寄付も継続しています。
- SDGs私募債発行を行っています。





目的:すべての人に包摂的かつ公正な質の高い教育を確保し、生涯学習の機会を促進する

- 各種研修（新卒入社研修・中途入社者研修・管理職研修・ハラスメントセミナー・安全教育セミナー・ドライバー研修等）を取り入れた活動を行っています。
- 免許支援制度を導入し、入社後からも各種免許取得のバックアップを行っています。
- 女性委員会では、当社で働く上で大切にして欲しいマナーをマナーブックにまとめ、全Crewに共有しています。

詳しくは、こちらをご覧ください。
[教育・福利厚生 | 採用情報 |](#)
ダイセーロジスティクス株式会社
(daisei-log.com)





目的：包摂的かつ持続可能な経済成長及びすべての人々の 完全かつ生産的な雇用と働きがいのある人間らしい雇用 (ディーセント・ワーク)を促進する

○働きやすい職場認証制度

(運転者職場環境良好度認証制度 一つ星) に合格しています。

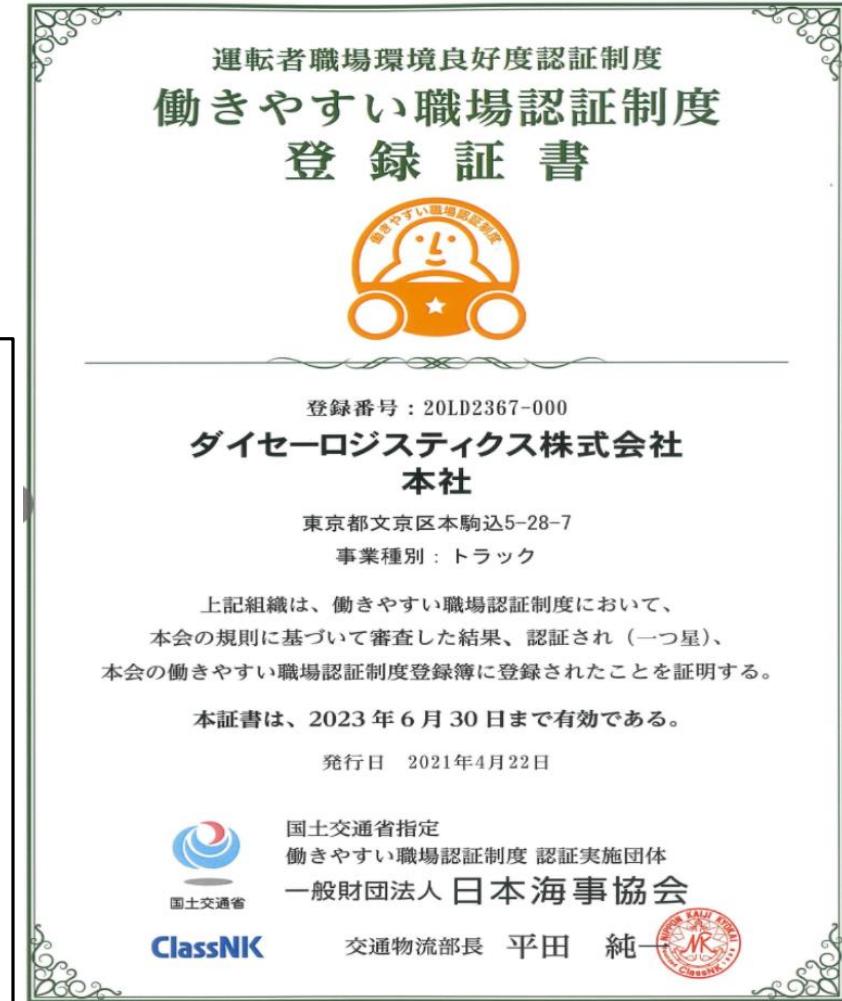
※「働きやすい職場認証制度」(旧:ホワイト経営認証制度)とは

職場環境改善に向けたトラック、バス、タクシー事業者の取組みを「見える化」
することで、求職者の運転者への就職を促進し、各事業者的人材確保の取組みを
後押しすることを目的とした制度です。



運転者職場環境良好度認証制度審査結果通知書	
<small>一般財団法人 日本海事協会 交通物流部長</small>	
<small>上記組織は、働きやすい職場認証制度において、 本会の規則に基づいて審査した結果、認証され（一つ星）、 本会の働きやすい職場認証制度登録簿に登録されたことを証明する。</small>	
<small>本証書は、2023年6月30日まで有効である。</small>	
<small>発行日 2021年4月22日</small>	
<small>国土交通省指定 働きやすい職場認証制度 認証実施団体 一般財団法人 日本海事協会</small>	
<small>交通物流部長 平田 純一</small>	

以上





目的：ジェンダー平等を達成し、すべての女性及び女児の能力強化を行う

- 女性委員会主体で、ジェンダー平等に向けた取り組み及び、女性の意識向上と能力向上を行っています。
- 職場におけるハラスメント対策の一環として、社内ヘル普ライン窓口を設置しています。
- 毎月1回のWEBミーティングにて、各拠点の女性Crew会議を行っています。
- 今後の多様化文化に向けて、ジェンダーギャップをなくすためのガイドライン策定の取り組みを開始いたしました。
- 女性委員会発信で、役員・センター長・女性Crewは「SDGsバッチ」を着用しています。





目的:すべての人々の、安価かつ信頼できる持続可能な
近代的なエネルギーへのアクセスを確保する

目的:気候変動及びその影響を軽減するための
緊急対策を講じる

各スーパーハブセンター（古河、杉戸、八千代）
にて太陽光発電を行っています。





7 エネルギーをみんなに
そしてクリーンに



13 気候変動に
具体的な対策を

目的:すべての人々の、安価かつ信頼できる持続可能な 近代的なエネルギーへのアクセスを確保する

目的:気候変動及びその影響を軽減するための 緊急対策を講じる

車両部門ではグリーン・エコプロジェクトを活用し、全車CO₂ (25%) 削減に取り組んでいます。環境にやさしい車両の導入や、全センターGマーク取得をしています。

○排ガス規制車両導入

- ・2010年～排ガス規制車両導入

○トレーラー導入（2台で運行するよりECO）

- ・運行の効率化、運行コストの削減

- ・運用する車両台数が減り燃料が削減されることにより、車両から排出される窒素酸化物（NO_x）、二酸化炭素（CO₂）の削減効果が期待される=環境対策

○インタンク＆アドブルー（尿素水の使用）

- ・尿素SCRシステムは、窒素酸化物（NO_x）に対してマフラー内で尿素を噴射することで窒素と水に分解。





目的:レジリエント(柔軟性)なインフラ構築、 持続可能な産業化の促進及びイノベーションの推進を図る

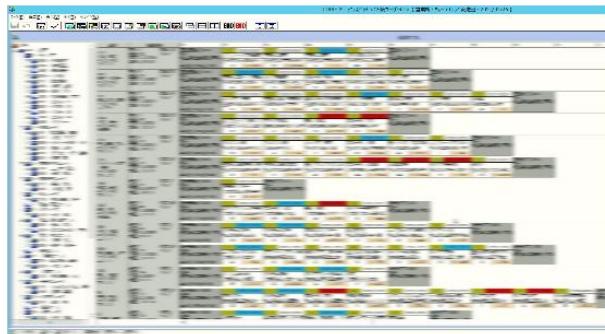
DX（デジタル・トランスフォーメーション）を進めています。

（取組例：AI自動配車システム、RPA業務自動化、WMS/TMS/ハンディターミナル、静脈認証勤怠管理、モバイルアプリ開発、予実管理システム等）

○AI配車モデル ダイセーログ × パロアルトインサイト「Palo-Patch」

受注データを取り込み、前日までの配車実績データ(配車マンの経験値)を元に配車計画、配送計画を自動立案する機械学習モデルです。

2018年11月より、菓子共配事業の3拠点(杉戸、相模原、関西)で運用のTMS(配車支援システム)に連携しています。



2019年4月1日付けの日本経済新聞（朝刊、電子版）にAI配車に関する記事が掲載されました。

日本経済新聞 朝刊 13ページ 「私見卓見」

AI、中小企業こそ積極導入を 石角友愛氏／パロアルトインサイト最高経営責任者

<https://www.nikkei.com/article/DGXMXZO43075880Z20C19A3SHE000/>

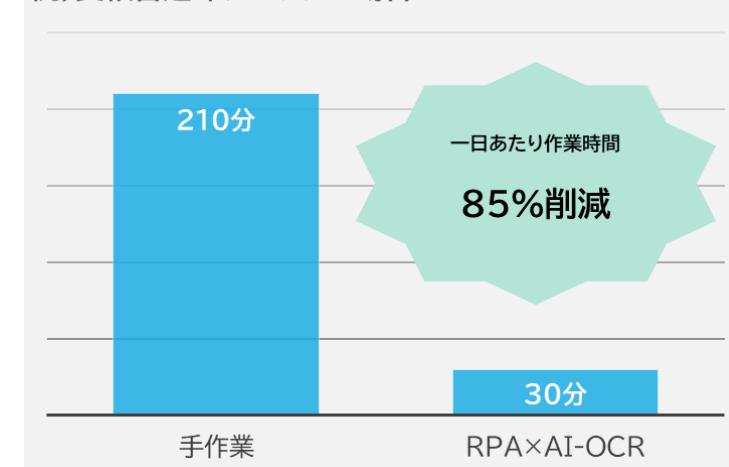
○RPAによる業務自動化

2018年9月よりRPA(ロボティック・プロセス・オートメーション)を導入し、生産性向上、コスト削減を推進しています。

ルーティン化された業務をRPAで自動化することにより、月間240時間以上の作業時間削減となっています。

例)受領書返却チェックの場合

(2021年2月現在)





目的:レジリエント(柔軟性)なインフラ構築、 持続可能な産業化の促進及びイノベーションの推進を図る

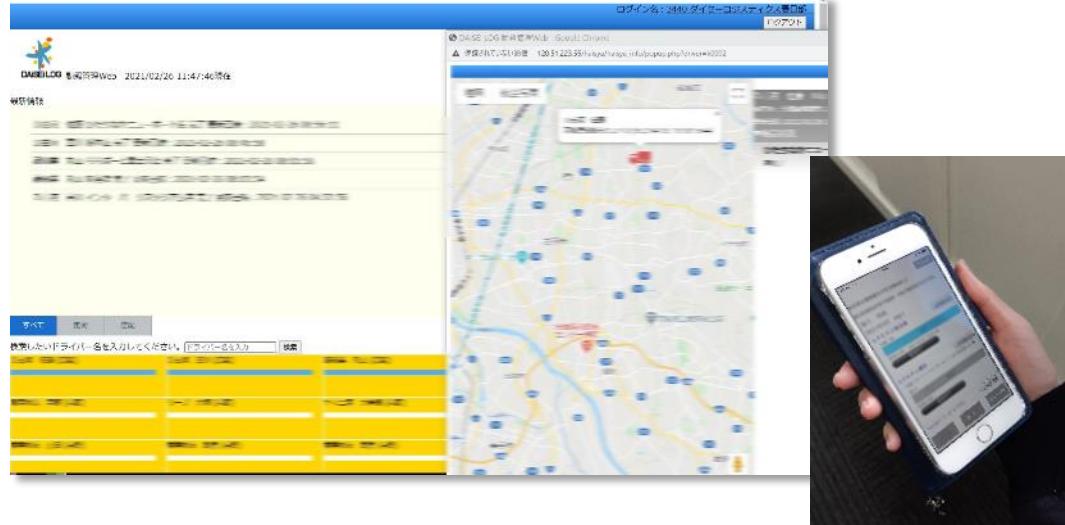
DX（デジタル・トランスフォーメーション）を進めています。

（取組例：AI自動配車システム、RPA業務自動化、WMS/TMS/ハンディターミナル、静脈認証勤怠管理、モバイルアプリ開発、予実管理システム等）

○モバイルアプリ開発(動態管理システム)

ドライバーさんに貸与したスマートフォンのGPSから、位置情報を送信、事務所では管理画面を確認することで、自車便・協力会社便を問わず、リアルタイムの位置情報や、納品の進捗状況を確認することができます。

ドライバーさんに連絡を取らずに状況把握が出来るため、業務効率化につながっています。



○静脈認証勤怠管理

勤怠管理には手のひら静脈認証を採用しています。
不正打刻を防げるほか、打刻情報はクラウド上で管理されるため、リアルタイムな集計が可能となり作業時間が大幅に短縮されました。



○予実管理

全センターの予算・予測・実績をシステムに一本化。
毎年・毎月の実績データと予算数値の対比が可能となりました。

科目	項目名	前年度			年度実績			予算集計		
		1月	2月	3月	1月	2月	3月	1月	2月	3月
0010 (自車運送)	16,399	16,700	17,094	15,000	16,326	16,400	16,372	17,500		
0101 (自車運送)	16,299	16,700	17,094	15,000	16,326	18,400	16,272	17,500		
0211 (①) 勤怠登録	6,577	5,970	6,815	5,780	7,098	7,090	7,306	7,000		
0212 (②) 勤怠登録	795	900	805	900	814	900	886	900		
0213 (③) 勤怠登録	0	0	0	0	0	0	0	0		
0214 (④) 静脈認証	1,290	1,250	1,268	1,250	1,327	1,250	1,326	1,250		
0215 (⑤) 指紋登録	306	300	250	250	317	300	323	300		
0216 (⑥) 指紋登録	0	0	0	0	0	0	0	0		
0217 (⑦) 電子登録	0	0	0	0	0	0	0	0		
0220 (⑧) 静脈認識	0	0	0	0	0	0	0	0		
0221 (⑨) 用品費	61	100	111	100	170	150	72	100		
0222 (⑩) 調理費	27	30	2	30	29	30	16	30		
0223 (⑪) 通勤費	80	0	0	0	100	0	0	0		
0224 (⑫) 施設設備費	0	0	0	0	0	0	0	0		
0225 (⑬) 通信費	175	200	163	200	175	200	188	200		
0226 (⑭) 小型光熱費	94	100	93	100	75	100	81	100		
0227 (⑮) 事務機器	0	0	0	0	0	0	0	0		
事務機器(⑯)事務用	4	6	5	4	4	6	4	6		
小型車用	15	16	15	16	15	16	15	16		
小型車用	7	6	6	6	6	6	6	6		
合計台数	26	26	26	26	25	26	25	26		
事務機器(⑰)主幹事務用	12	14	14	14	9	14	11	14		
主幹事務用	14	12	12	12	16	12	8	12		

9 産業と技術革新の
基盤をつくろう



目的:レジリエント(柔軟性)なインフラ構築、 持続可能な産業化の促進及びイノベーションの推進を図る

情報セキュリティマネジメントシステム

(ISMS:Information Security Management System)の

国際規格である「ISO/IEC27001:2013」の認証を取得しています。

(ダイセーロジスティクス株式会社 松伏ハブセンター取得)

認証基準に基づく情報セキュリティマネジメントシステムの

継続的な運用・改善に努め、お客様の信頼を

より一層高めることができるように取り組んでまいります。



ACCREDITED™
Management Systems
Certification Body

MSCB-113



GIJP-0395-IC

ISO/IEC 27001:2013

Certificate of Registration Certificate of Registration

G-CERTI Certificate

hereby certifies that

ダイセーロジスティクス株式会社

埼玉県北葛飾郡松伏町大川戸608-5 松伏ロジスティクスセンター

meets the Standard Requirements & Scope as following

ISO/IEC 27001:2013 情報セキュリティマネジメントシステム

貨物自動車運送事業・倉庫業

認証番号 : GIJP-0395-IC
初回認証日 : 2021年 05月 14日 最終発行日 : 2021年 05月 14日
有効期限 : 2024年 05月 13日 有効期間 : 2021年 05月 14日 - 2024年 05月 13日

Signed for and on behalf of GCERTI
President J.K.Cho:



Certificate of Registration Certificate of Registration

G-CERTI Certificate

hereby certifies that

DAISEILOGISTICS Co., Ltd.

Matsubushi Logistics Center, 608-5 Okawado, Matsubushi-cho,
Kitakatsushika-gun, Saitama, Japan

meets the Standard Requirements & Scope as following

ISO/IEC 27001:2013 Information Security Management Systems

Motor Truck Transportation Business, Warehouse Business

Certificate No : GIJP-0395-IC
Initial Date : 14. May, 2021 Issue Date : 14. May, 2021
Expiry Date : 13. May, 2024 Valid period : 14. May, 2021 - 13. May, 2024

Signed for and on behalf of GCERTI
President J.K.Cho:



To verify the validity of this certificate please visit : www.gcerti.com
Korea, Seoul, Euiyeong-gu, Euiyeong-ro, 88, 11F, Surveillance
Business Center, Korea. This is to certify that the Management System
of the above organization has been assessed and found to be in accordance
with the requirements of ISO/IEC 27001:2013. The certificate remains the property of GCERTI
and this certificate is recognized by GCERTI.





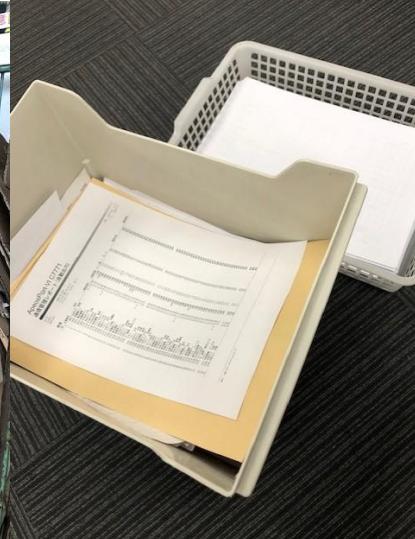
目的:すべての人々の水と衛生の利用可能性と 持続可能な管理を確保する

目的:持続可能な消費生産形態を確保する

リサイクル運動を行っています。

(ペットボトル・古紙・段ボール・鉄くず・使用済みストレッチフィルム等)を行い、ごみの減量化と、資源リサイクルとリユース分別の徹底をしています)

また古着リサイクルの回収を行い、一人でも多くの難民の方のお手元に届くよう活動しています。



あらゆる年齢のすべての人々に向けて

(健康的な生活を確保し、福祉を促進)

- 住所管轄地の「社会福祉協議会」へ寄付（使用済み切手も寄付）

- 「ペットボトルキャップ回収」をして世界の子供たちに

「ポリオワクチン」を

○SDGs 私募債発行

- プルタブ回収し、車いす寄付のお手伝い



レジリエントな世界に向けて

(インフラ構築、持続可能な産業化の促進及び

イノベーションの推進)

- DX（デジタル・トランスフォーメーション）構築

- ISMS : Information Security Management System

「ISO/IEC27001:2013」の認証を取得



大切な水と環境衛生に向けて

(すべての人々の水と衛生の利用可能性と持続可能な管理、

持続可能な消費生産形態を確保)

- リサイクル運動（ペットボトル・古紙・段ボール・鉄くず等）

人権の尊重に向けて

(ジェンダー平等を達成)

- 差別防止、ハラスメント防止、HELP LINE 開設

- ダイバーシティ（多様化）に対応



働きがいに向けて

(持続可能な経済成長へ)

働きやすい職場認証制度に合格



ワークライフバランスに向けて

(すべての人に包摂的かつ公正な質の

高い教育を確保・生涯学習の機会を促進)

- 女性 Crew 向けセミナー実施

- 各種免許・資格支援制度の導入

- 各種研修（新卒入社・中途入社・管理職・

ハラスメントセミナー・安全教育セミナー・

ドライバー研修等）



環境に向けて

(気候変動及びその影響を軽減するための緊急対策)

- 太陽光発電

- 尿素 SCR システム

- グリーンエコプロジェクト（CO₂／25%削減）



SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



持続可能な未来のために、
ダイセーロジスティクス株式会社は
SDGs達成を
推進してまいります。

